



キモノからインテリアへ—住空間を彩った機械捺染

—寺田コレクションと蛭川コレクション—

2021年6月21日(月)ー7月10日(土)

※会期変更いたしました

京都工芸繊維大学美術工芸資料館1階

開館時間：10:00-17:00(入館は16:30まで)

休館日：日曜・祝日

入館料：一般200円/大学生150円/高校生以下無料

* 京都・大学ミュージアム連携所屬大学の学生は学生証の提示により無料
* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳を持参の方及び付添の方1名は無料(入館時、手帳を提示)

主催：京都工芸繊維大学美術工芸資料館

企画：京都工芸繊維大学美術工芸資料館/青木美保子/上田文

協力：京都・大学ミュージアム連携/立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省
国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際研究拠点」

キモノからインテリアへ—住空間を彩った機械捺染

—寺田コレクションと蛭川コレクション—

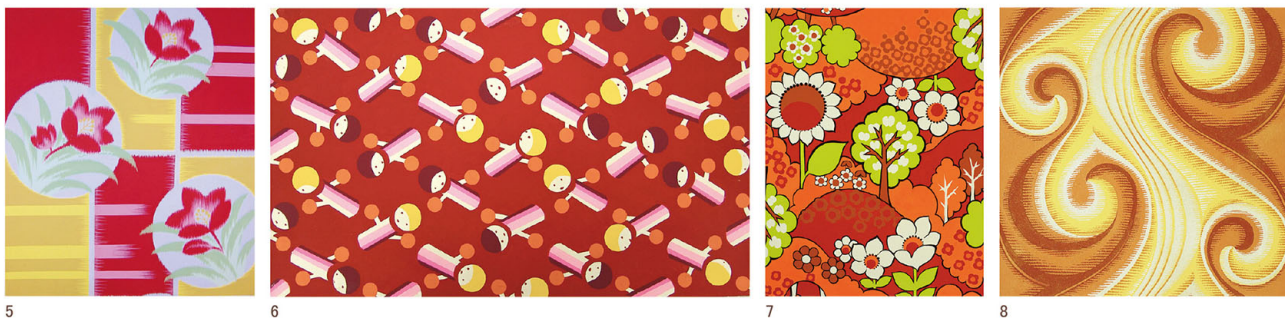
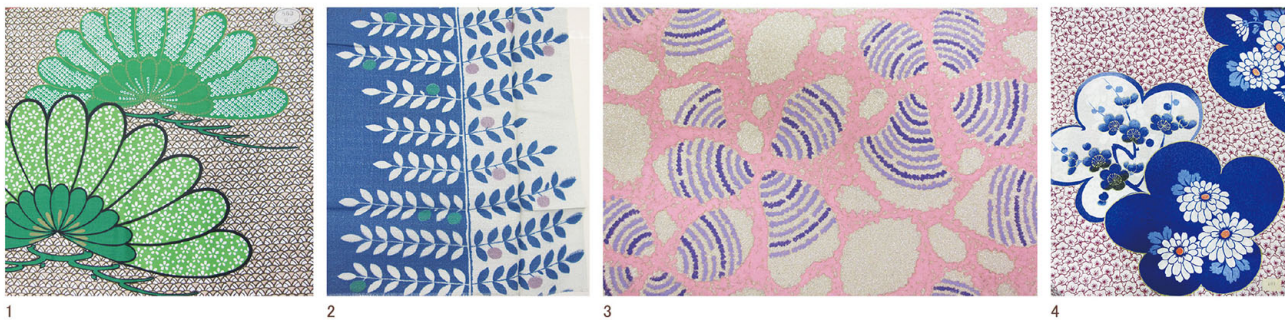
京都工芸繊維大学美術工芸資料館では、これまで機械捺染に関わる展覧会として、「ここにもあった匠の技 機械捺染」(2010年)、「京都のモダンデザインと近代の縞・緋」(2011年)、「京都からアフリカへ 大同マルタコレクションにみる1960年代京都の捺染産業」(2013年)、「京都捺染産業の軌跡 ローラー彫刻の祖 武田周次郎とその後」(2015年)、「近代京都の機械捺染図案を今ふたたび一よみがえる寺田コレクション—」(2018年)の5回を開催しました。

これらの展覧会によって、機械捺染が、伝統産業の近代化のなかで重要なポジションにあり、1898(明治31)年に導入されてからおよそ100年、京都の染織産業に大きく貢献してきた姿が浮き彫りにされました。

本企画は、これまでの機械捺染関連の展覧会の延長線上にあり、用途を広げた機械捺染産業の一側面を紹介するとともに、現代にいたる図案の変遷をたどるものです。

主な展示資料は、機械捺染の黄金時代の一端を示す寺田コレクションと蛭川コレクションの図案資料と見本生地の中から選定したものです。キモノの需要が減少し、それに伴い図案の主な対象が、着尺(キモノ用)捺染からカーテンや寝具といったインテリアへと変化する1950年代以降の資料を中心に展示します。なかでも、日常に洋風生活が浸透する時代に庶民の住空間を彩ったポップで華やかな図案や生地の数々は初出展となります。あわせて、機械捺染の変遷が俯瞰できる戦前期の資料も紹介します。

いつの時代も、庶民の生活に寄り添ってきた機械捺染、この展覧会の資料からも、その時々々の生活文化が見えてきます。そして、生活文化のなかで生まれた機械捺染の図案からは庶民の美意識を感じ取ることができます。みなさま、それぞれの視点で展示をお楽しみいただけますと幸いです。



1. 蛭川資料 布団地(緑の扇松)1960年代～1970年代部分 / 2. 寺田資料 カーテン地(オリーブの木)1960年代部分 / 3. 寺田資料 手描き図案原画(フワフワ毛系のちぎれ文様)1950年代～1970年代部分 / 4. 蛭川資料 布団地(梅花地に梅枝と菊の梅花文様)1968年頃部分 / 5. 寺田資料 手描き図案原画(市松格子に五弁花丸文様)1920年代～1930年代部分 / 6. 寺田資料 手描き図案原画(こけし坊や)1950年代～1960年代前半部分 / 7. 寺田資料 手描き図案原画(夏の山林ポップ文様)1960年代～1970年代部分 / 8. 寺田資料 手描き図案原画(炎)1960年代～1970年代部分
表面: 寺田資料 こたつカバー(茶色にピンクのアラベスク文様)1970年代部分

当館の感染症予防対策の取組み

- ◇お客様対応をおこなうスタッフはマスクを着用し、検温による健康チェック及び手指の消毒をおこなっております。
- ◇受付には、飛沫感染防止用ついでを設置しております。
- ◇館内入口と一部展示室の窓を常時開放し、可能な限りの換気に努めております。
- ◇多くのお客様が手を触れる箇所の定期的な消毒を実施しております。

ご来館の皆様へお願い

- ◇次に該当する方は来館をお控えください。
 - ・発熱、せき、くしゃみ、臭覚・味覚異常など風邪の症状がある方や、体調のすぐれない方
 - ・過去2週間以内に新型コロナウイルス感染者または感染の疑いがある方と濃厚接触が疑われる方
 - ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国への訪問歴がある方。
- ◇マスクの持参・着用をお願いいたします。マスクを着用されていない方は、ご入館をお断りいたします。
- ◇来館時に職員による検温を実施いたします。37.5度以上の熱があるお客様は、ご入館をお断りいたします。
- ◇団体でのご来館はお控えください。混雑状況に応じて、入館をお待ちいただく場合がございます。
- ◇設置している消毒用アルコールで、手指の消毒をお願いいたします。
- ◇ご入館の際に、氏名・連絡先等の記入をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

同時開催 | 第15回村野藤吾建築設計展 村野藤吾によるリノベーションの作法
2021年3月22日(月)～6月5日(土)

岸和郎: 時間の真実
2021年6月21日(月)～9月11日(土)

お問合せ | 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
TEL 075-724-7924 <http://www.museum.kit.ac.jp/>

交通 | ○市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分
○京都バス「高野泉町」下車、西へ徒歩約10分
○叡山電車「修学院駅」下車、西へ徒歩約15分

